

## 白馬村地域公共交通（観光交通システム）検討委員会の開催状況について

### 1 設置目的

白馬村地域公共交通会議において協議する事項の内、運行計画に関する調査検討を行う。

### 2 掌握事項

白馬村が実施する住民輸送サービス等の運行計画策定に関する検討をし、その結果を白馬村地域公共交通会議に報告する。

### 3 委員構成（18名以内）

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| (1) 地域住民の代表者 | (5) 地元交通事業者           |
| (2) 民生児童委員   | (6) 行政機関              |
| (3) 各種団体関係者  | (7) 村職員               |
| (4) 医療機関     | (8) その他交通会議会長が必要と認める者 |

### 白馬村地域公共交通検討委員会名簿（H20.9.1 現在）

委員長      副委員長

選出区分	職 名	氏 名
住 民 代 表	白馬村地域公共交通会議 委員（一般公募）	速水 政文
住 民 代 表	白馬村地域公共交通会議 委員（一般公募）	渡邊 宏
事 業 者	松本電気鉄道(株) 白馬営業所長	遠藤 芳房
事 業 者	(有)白馬交通 代表取締役社長	遠藤 清
観 光 団 体	白馬村観光局次長	太田今朝治
観 光 団 体	観光局インバウンド専門委員長	富田 幸延
観 光 団 体	白馬ツーリズム代表	渡部 修
行 政 機 関	白馬村役場 観光農政課長	横澤 英明

## 4 開催状況

### 第1回検討委員会

(1) 日 時：平成21年7月9日(木)午後2時から午後3時14分

(2) 場 所：白馬村役場庁議室

(3) 出席者数：7名

(4) 内 容：

委員長及び副委員長の選任

委員長に横澤英明委員、副委員長に富田幸延委員を互選した。

運行計画の策定方針について

運行計画策定における基本的な考え方について協議した。

#### **[検討委員会意見抜粋]**

利用促進方法の検討必要との意見があり、啓蒙を含めた計画を提案することとなった。

地域住民と観光客のための輸送を切り離して構築した方が良いとの意見があり、次年度検証し、検討することとなった。

朝、昼間の運行については利用者が少ないと予想される。高齢者への配慮として福祉バスなども検討必要との意見があり研究テーマとなった。

運行計画の策定スケジュールについて協議した。

運行計画策定までの各種スケジュールについて協議した。

アンケートの実施について

地域住民のニーズ調査とし、通学者へのアンケート調査方法について協議した。

#### **[事務局利用調査]**

村内中学生、高校生の通学実態を把握し、抱えている問題を明確化すると共に、観光公共交通システムでの対応方法を検討する材料を把握する。

観光交通システム構築事業輸送サービスの運行計画策定に際し、より観光事業者の意向を反映させるための意見把握。

冬季シャトルバス「元気号」基礎資料として日本人利用者への意見把握。

#### **[検討委員会意見抜粋]**

村外通学者の通学実態の把握、利用ニーズ調査必要。また村民に路線バスが必要か等、実態調査が必要との意見があったが当委員会での調査としては限界があるため公共交通会議への意見提言事項とした。

## 第2回検討委員会

- (1) 日 時：平成21年8月31日(月)午後1時30分から午後3時15分
- (2) 場 所：白馬村役場201・202会議室
- (3) 出席者数：8名
- (4) 内 容：
- 通学者アンケート結果について  
中学高、高校の村内通学に関するアンケート調査結果について報告した。(別紙報告書)
- 運行計画(案)について  
冬季シャトルバス「元気号」運行計画(案)について協議した。
- [事務局説明要約]**
- 昨年度との変更点は、出発地を和田野エリアからJR白馬駅を起点とした。  
アンケートの結果を基に、学生が利用できるようにダイヤを1時間早めたほか、昨年度10時台が最終であったが、1時間遅くした。  
利用方法については利用券と現金の併用式とした
- [検討委員会意見抜粋]**
- 運行時間帯は海外観光客が外食利用時間帯と整合しており良いと思うが、海外観光客が利用しにくい広域的(全村的)な運行となると利用率が上がらなくなる。観光客と地域住民のバス併用運行は利用が異なるため次年度の実証に向けての検討課題であるとの意見があり、次年度の検討事項とした。
- 利用料金の300円は高いと感じる。また「元気号」の利用率を上げるためにも使いやすい料金設定が必要との多くの委員から指摘があり利用料金を300円/回から200円/回に改正した。また小児(7歳以上)についても同額とした。
- 「元気号」運行に際し、将来的にも行政が負担することは好ましくないため自主財源の確保は必要との意見もあった。
- 利用促進計画について  
冬季シャトルバス「元気号」利用促進計画について協議した。
- [検討委員会意見抜粋]**
- 海外観光客への情報発信はとの意見があり、宿泊先からの情報発信とあわせ海外プロモーション時に情報を発信していくとの説明があった。
- アンケート調査について  
利用者調査として、冬季シャトルバス「元気号」日本人利用者アンケート調査方法について協議した。
- 観光関係者との意見交換について  
観光交通システム構築事業輸送サービスの運行計画策定に際しての観光事業者の意向調査方法について協議した。
- 検討事項について  
(1) 村民アンケート、(2) 地域住民と観光客輸送の構築は可能か、(3) 高齢者等に配慮した公共交通システムについての研究と検討をした。

### 第3回検討委員会

開催時期：平成21年12月から22年1月上旬

協議内容： 観光事業者との意見交換結果報告について  
22年度取組予定である観光交通システム運行計画案の策定について

### 第4回検討委員会

開催時期：平成22年3月下旬から4月中旬

協議内容： 冬季シャトルバス「元気号」運行実態報告について  
冬季シャトルバス「元気号」アンケート結果について  
冬季シャトルバス「元気号」パブリックコメントの実施結果について  
22年度取組予定である観光交通システム運行計画案の策定について

6 白馬中学校生徒・村内白馬高校生徒の保護者の皆さんへ通学に関するアンケート調査結果について  
 当てはまるもの、1つに「 」をつけてください。(複数回答があるものに関しては複数回答ありと記述し、  
 数値に反映させた。)

通っている学校等をお答えください。	サンプル別	配布数	回収数	回収率
	1. 中学	263件	144件	54.8%
	2. 高校	144件	33件	42.9%
	合計	340件	177件	52.1%
お住まい地区名を教えてください	サンプル別	1	2	3
	1. 中学	白馬町区17	みそら野区15	飯田区 飯森区各10
	2. 高校	みそら野区9	白馬町区5	飯田区5
学校へ行く際の主要な交通手段は何を利用してありますか	<p>中学生は、「自転車」が40%、「歩き」が28%と自力手段が約7割の数値であった。また「家族が自家用車で送る」18%と高い数値である反面「JR利用」が14%と低い数値であった。</p> <p>高校生は、「自転車」が57%、「歩き」が10%と自力手段が約7割の数値であった。また「家族が自家用車で送る」15%、「JR利用」が15%と同数値であり、中学生、高校生とも同じ様な傾向であった。</p>			
・(電車通学の方は最寄りの駅までの交通手段をお答えください)	JR利用者は中学生が75%、高校生が100%の数値で「歩き」と回答し、「自家用車で駅まで送る」が中学生21%あった。			
電車で通学される方の通常乗り降りする駅はどちらですか	JR利用者は南神城駅、神城駅、飯森駅と神城地域内での利用がほとんどであり、森上駅利用者はいなかった。			
(また電車の時間について、ご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きの乗車時間については、神城地域中学生、高校生とも6時49分、8時1分白馬駅着の利用が100%であった。</li> <li>・帰りの降車時間について中学生は、「16時、17時、18時、19時台」がそれぞれ約4分の1の数値、高校生は「16時台」が7割弱であった。</li> </ul>			
登校するために家を出られるのは何時頃ですか	<p>中学生は、「6時30分から7時」28%、「7時から7時30分」26%、「7時30分から8時台」38%と部活動、登校時間により6時30分以降8時までに家を出るが併せて92%となっている。また高校生では「7時30分から8時台」が42%、「8時以降」が52%と近距離通学の特徴を示していた。</p>			

<p>帰宅するのは何時頃ですか</p>	<p>帰宅時間としては、中学生が「18時から19時台」が56%、高校生が「19時台以降」が31%と比較的大きな数値であったが、部活動等多様となるためか16時以降からの回答は大きく分散された。</p>
<p>お子様の通学時に、どのようなことに不安を感じますか？</p>	<p>登下校時の不安として挙げられた中で最も多いのは「交通事故」で中学生45%、高校生46%であった。次いで最近頻発する事件の影響が「知らない人との接触」が中学生21%、高校生23%であった。意見としては街灯がないまたは少ないので暗くて心配が中高併せて11件と非常に多かった。</p>
<p>通学時に合わせた公共交通システムがあれば、あなたは利用しますか（させますか）</p>	<p>交通システムの通学時利用は「毎日利用」が中学生15%、高校生12%と2割を満たない数値であったが、「時々」は中学生15%、高校生15%「天候によっては」は中学生47%、高校生56%を加えると全体の8割が何らかの利用意向を示している。</p>
<p>利用する場合、利用料金は、どの程度が妥当だと思いますか？</p>	<p>交通システムの通学時利用料金は「100円程度」が7割強あり、低料金での利用を望む意向が強い、また定期券の様な場合でも3,000円以内との意向が9割強となった。またその他意見として学生は無料、JR定期代より高つくので適当でないとの意見も寄せられた。</p>
<p>あなたは冬期運行されています「元気号」を知っていますか</p>	<p>元気号を「知っている」は6割、「知らない」が4割であった。</p>
<p>・知っているとお答え頂いた方にお聞きします あなたは（生徒は）利用したことがありますか</p>	<p>元気号を「利用したことがある」は0であった。理由として考えられることは村内中高生が利用しにくい運行となっていること、乗降地が限られていることと外国人の利用者が殆どであるための不安感、認知度が低いとの理由が考えられる。</p>
<p>公共交通システムについて意見・要望がありましたら、ご記入ください。</p>	<p>公共交通システム自由意見として中学生アンケート結果より、 ・学校の登下校に合わせた交通システムがほしいとの意見が21件、次いで冬季の間だけでも交通システムを要望する意見が13件、部活動に合わせた通学交通システム要望が7件となっている。高校生アンケートでは、すべて1件での意見であったが、通学用の交通システムを要望する意見が目立った。</p>